

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	224上・下水道の整備		
施策のねらい (めざす姿)	すべての市民が、良質で安定した水が利用します。 下水道(汚水)が整備され、市民が衛生的な環境の中で生活しています。		
基本目標	2「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして	施策担当マネージャー	都市建設部次長
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	マネージャー氏名	貞方 敦雄

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	公営企業会計移行にあたっては、さまざまな課題があることから、今後も計画的に準備を進めていく。	③改革・改善内容	令和2年度の公営企業会計移行に向け計画的に事務を進める。 下水道施設について適切に維持管理を図るとともに、計画的に整備を促進する。
②①に基づく取り組み結果	・公営企業会計システムを構築・仮導入を実施した。 ・移行に伴う事務について、事務内容やスケジュールを把握しながら事務を進めた。 ・移行後の事務について関係部局と協議を進めた。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	公共下水道	意図(対象をどうするのか)	公共下水道の整備を進め市民にとって衛生的で快適な生活環境を確保する。
②施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道新設による供用開始区域の拡大 ・公共下水道施設の適正な維持管理 ・公共下水道事業の健全な経営 			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	<ul style="list-style-type: none"> ・公営企業会計移行に伴い、経営成績や財務状況、資産状況などを明確に把握し、持続的な下水道事業の経営を図る。 ・公共下水道普及率向上について多くの市民要望がある。 			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29～30年度の施策の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・公営企業会計移行の準備を予定通り進めた。 ・公共下水道(汚水)を整備したことにより、下水道普及率が2%上昇した。 						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(2年度)
	i	上水道普及率	%	76.6	76.6	調査中	上昇
	ii	下水道普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)	%	64.0	65.2	66.1	68.0
	iii	下水道水洗化戸数	戸	27,902	28,297	28,694	29,300
③基本事業成果指標	i	上水道普及率	%	76.6	76.6	調査中	上昇
	ii	下水道普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)	%	64.0	65.2	66.1	68.0
	iii	全県域汚水適性処理化構想見直し数	件	0	1	0	1
	iv	全体計画見直し等の実施数	件	0	0	0	1
	v	下水道管渠清掃延長	m	2,872	5,326	5,957	4,070
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成29年度決算	平成30年度決算	市民一人あたり事業費(30年度決算)		令和元年度予算		
事業費(千円)	2,652,638	2,441,226	(単位:円) 22,318 円		3,005,407		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・公営企業会計移行の準備を予定通り進める。 ・施設の老朽化による更新費や維持管理費の増加が想定されるなか、財源を確保するとともに、経営感覚を持って事業を運営していく必要がある。 		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	・公共下水道整備により、使用可能な人口が増加するなど、成果指標に関しても概ね上昇している。

V 今後の方向性

①施策の方向性	→維持
②上記方向性の説明	令和2年度に公営企業会計へ移行を行うとともに、財源の確保とコストに留意し、下水道使用可能区域拡大のため整備を進める。
③特に重点化する事務事業	下水道建設に要する経